

大浦地区振興会だより

～大浦にお住まいのみなさん全員が大浦地区振興会の会員です～



大浦地区振興会

会長 津崎 勝志



振興会長 新年のごあいさつ



大浦地区の皆さま、明けましておめでとうございます。

平成31年の初春を迎え皆さまには、つつがなく新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

本年度計画しておりました諸事業は、順調に推進することができました。これも振興会役員や部会員の方々、地区住民皆様のご支援ご協力のおかげによるものと、感謝しております。

さて、去年は「今年の漢字『災』」が示すとおり、北海道・大阪・島根での地震、西日本豪雨、大型台風直撃や記録的猛暑など、平成28年4月に発生した熊本地震もまだ記憶に新しいなかで、災害が相次いで発生し、自然の猛威を痛切に感じたところです。その一方で、自助・共助のボランティア活動や義援金活動も盛んに行われ、改めて人々の絆の大切さを感じました。

本年度で当振興会も14年目を迎えます。合併当初は、653人いた大浦地区住民も567人に減少し、65歳以上の高齢化率も37

%から44%に増加しました。子ども達も少なくなったため、小学校も町に一つになり、昨年3月末には大楠小学校が30年の歴史に幕を下ろしました。

このような少子超高齢化により、第一次産業を始め、どの産業でも後継者不足で悩んでいます。これは大浦に限らず、全国的な地域課題になってきています。

しかし、様々な課題や問題に対しては「蒔かぬ種は生えぬ」とありますように、何かを得ようとするのであれば、まず何かに取り組んでいかないと始まりません。

これまでの経験を踏まえ、さらに新たなアイデアも取り入れながら、たとえば今年度から始めた田舎暮らし体験事業等「“小さくてもキラリ”と光る大浦 ～交流を通じて住民が生きがいを感じ、支え合うむらづくり～」を目指し活動を進めてまいりたいと考えております。

今後とも当振興会に対しまして、変わらぬご指導・ご鞭撻賜りますよう心からお願い申しあげると共に、皆様様の健康と活躍を祈念し新年の挨拶とさせていただきます。

平成31年1月



善意の寄附ありがとうございました（ふるさと応援寄附金）

【敬称略】

（12月28日（金）までの受付分）



松川 晃治（東京都）

久保 佑四郎（大阪府）

その他4名の方（匿名希望）から寄附をいただきました。

みんなで楽しくケーキ作り 「食」の大切さしろう

12月25日（火）、大浦地区コミュニティセンターで親子料理教室（クリスマス会 in 子どもサロン）を開催しました。参加した子どもたちは23人。食生活改善委員・交流活動部会員・保護者計8人と一緒に食のお話しを聞いた後、調理しました。

この日のメニューは、ご飯・クリームシチュー・マカロニサラダ・クリスマスケーキの4品。子どもたちは委員の皆さんの指導を受けながら、熱心に調理していました。できあがった料理は、おいしくいただきました。



平成最後の一文字 大浦阿蘇神社ライトアップ 新しい時代を切り拓く

大浦阿蘇神社で、12月31日（月）から元旦にかけてライトアップ事業を実施しました。同事業は今年で9回目。すっかり振興会の恒例行事となりました。

今年も投光器や灯籠を使い、境内をきれいに彩ることができました。また、タコつぼ129個を使った文字は「拓」。今年は「平成」最後の年になり、5月1日からは新元号がスタート。「新しい時代を切り拓き、今年一年が皆さまにとってよい年になるよう」願って、採用しました。



20歳の階段をのぼる 成人おめでとうございます

平成31年1月3日（木）、有明町民センターで有明地区成人式が開催されました。有明地区の成人者は56人。うち大浦では6人の方が成人になりました。成人を迎えられたみなさん、ご家族の皆さんおめでとうございます。

式典後の成人のつどいでは、一人ひとりが今の状況や今後の抱負などを発表しました。

なお、大浦地区の新成人は次のとおりです。

【平成31年新成人者氏名（敬称略）】

山崎千聖、渡邊光紗、春山悠翔、山本瑞貴、木村梨々花、松本琉花



今後の行事予定

2月 

- 一人暮らし 弁当配布事業
- ・2月3日（日） 午前8時～
- ・大浦地区コミセン

3月 

- 有明地区津波避難訓練
- ・3月3日（日） 午前9時～
- ・有明町内一斉